

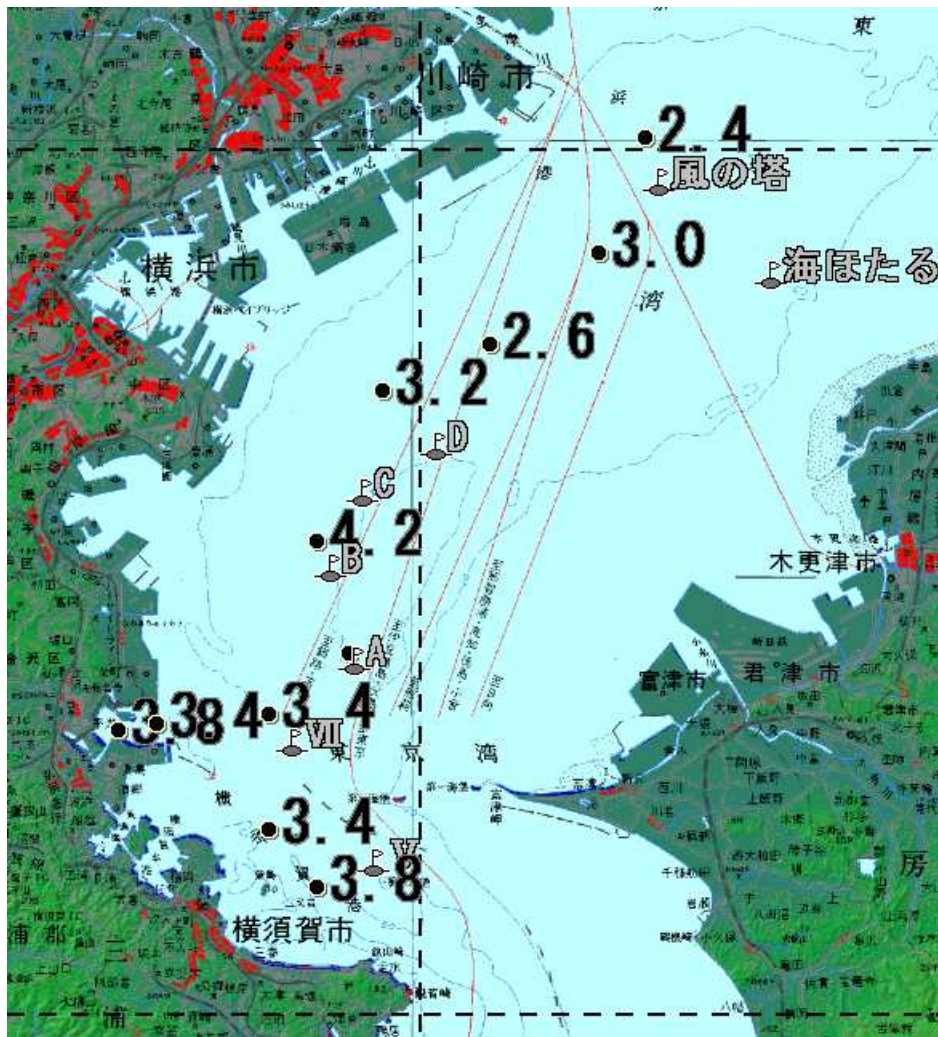
溶存酸素量は全体的に高めです。

東京湾溶存酸素情報

神奈川県水産技術センター
2009/08/05

神奈川県あなご漁業者協議会が横浜市漁協柴支所の
第六金亀丸により東京湾調査を実施しました。

- 水温は、表層で 25～26℃台、底層では 15～17℃台です。
- 外洋からの高塩分水が風の塔付近まで分布しています。
- 貧酸素水塊 (≦2.5ml/l) が風の塔の北の 1 点でみられました。
- Dブイの南では酸素量が高めで、中層貧酸素水塊もみられません。



底層の溶存酸素量 (ml/l)

発行 神奈川県水産技術センター
資源環境部
電話 046(882)2313

上下の水温差・塩分差があります。
八景島近くのアナゴの活け場は水深がないため、底層まで塩分が低めです。
漁獲物の取り扱いにご注意ください。